令和4年度

多面的機能支払交付金の実施状況 農村振興局

令 和 5 年 8 月

農林水産省

【利用上の注意】

- 1. 本資料は、実施要綱別紙1の第5の7、別紙1の第8の2、別紙2の第5の8及び別 紙2の第8の2に基づき、全ての活動組織から提出された令和4年度の実施状況(令和 5年3月31日時点)を取りまとめた結果である。
- 2. 本実施状況の取りまとめ対象範囲は、全国である。
- 3. 表中に使用した記号は次のとおりである。

「0」… 単位に満たないもの。(例: 0. 2ha \rightarrow 0ha)

「一」… 事実のないもの。

- 4. 面積等は単位未満を四捨五入したので、計とその内訳の合計値は必ずしも一致しない。
- 5. 多面的機能支払交付金は、平成26年度より「農地・水保全管理支払交付金」を組替え・ 名称変更したもの。過年度の取組実績は、「農地・水・環境保全向上対策」(平成19年度 ~22年度)及び「農地・水保全管理支払交付金」(平成23年度~25年度)のものを参考 として掲載している。
- 6. 多面的機能支払交付金は、以下の3つに区分されている。資料では、各章の標題部分 を除き、下記のとおり省略。

(区 分) (資料内の略称)

- ・農地維持支払交付金(地域資源の基礎的な保全管理活動及び 地域資源の適切な保全管理のための推進活動) → 「農地維持支払」
- ・資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)
 - → 「資源向上支払(共同)」
- ・資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)
 - → 「資源向上支払(長寿命化)」

【問い合わせ先】

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

電話:03-3502-8111 内線5618

多面的機能支払推進室保全指導班

直通: 03-6744-2447

I. 農地維持支払交付金(地域資源の基礎的な保全管理活動及び地域資源の適切な保全管
理のための推進活動)の実施状況
1. 全国の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
(1)農地維持支払の対象市町村数、対象組織数、認定農用地面積の推移
(2)対象施設数
(3)推進組織の設置状況
2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、認定農用地面積) ・・・・・・ 2
(1)農地維持支払の対象組織数、認定農用地面積、カバ一率
(2)農地維持支払の対象組織数、認定農用地面積の推移
3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況 ・・・・・・・・・・・・ 3
(1)農地維持支払の地目別認定農用地面積とカバー率
(2)農地維持支払の地目別認定農用地面積割合
(参考) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
・ 農地維持支払の都道府県別のカバー率について
農業用用排水路の管理を行う農業集落における多面的機能支払交付金(農地
維持支払)及び中山間地域等直接支払交付金による管理割合について
Ⅱ.資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)の実施状況
1. 全国の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
(1)資源向上支払(共同)の対象市町村数、対象組織数、認定農用地面積の推移
(2)農村環境保全活動の実施状況
(3)多面的機能の増進を図る活動の実施状況
2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、認定農用地面積) ・・・・・・ 6
(1)資源向上支払(共同)の対象組織数、認定農用地面積、カバ一率
(2)資源向上支払(共同)の対象組織数、認定農用地面積の推移
3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況 ・・・・・・・・・・・・ 7
(1)資源向上支払(共同)の地目別認定農用地面積とカバー率
(2)資源向上支払(共同)の地目別認定農用地面積割合
(参考) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
・ 資源向上支払(共同)の都道府県別のカバー率について
・ 農地維持支払に対する資源向上支払(共同)の認定農用地面績の比率について

Ⅲ. 資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)の実施状況
1. 全国の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
(1) 資源向上支払(長寿命化)の対象市町村数、対象組織数、対象農用地面積の推移
(2) 資源向上支払(長寿命化)の対象施設数
ア、補修・更新等の対象施設数
イ.補修・更新等の実施施設数
2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、対象農用地面積) ・・・・・・ 10
(1)資源向上支払(長寿命化)の対象組織数、対象農用地面積、カバー率
(2)資源向上支払(長寿命化)の対象組織数、対象農用地面積の推移
3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・ 11
(1)資源向上支払(長寿命化)の地目別対象農用地面積とカバ一率
(2) 資源向上支払(長寿命化)の地目別対象農用地面積割合
(参考) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
・ 資源向上支払(長寿命化)の都道府県別のカバー率について
・ 農地維持支払に対する資源向上支払(長寿命化)の対象農用地面績の比率について
都道府県別の実施状況データ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
市町村別の実施状況データ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

用語集

用語	用語の説明
対象農用地	対象組織が交付金の算定の対象として事業計画に位置付ける農用地。 農振農用地又は多面的機能の発揮の観点から対象農用地とすることが 特に必要な農用地として、都道府県知事が要綱基本方針において定める 農用地。
一田	湛水するための畦畔及びかんがい機能を有している土地。
一畑	農用地のうち田及び草地を除く土地。樹園地を含む。
一草地	牧草専用地及び採草放牧地。
対象農用地面積	対象組織が交付金の算定の対象として事業計画に位置付ける農用地の面積。
対象施設	事業計画において定める対象組織が保全管理する施設。
広域化	広域活動組織を設立すること。
多面的機能の増 進を図る活動	遊休農地の有効活用、農地周りの共同活動の強化、防災・減災力の強 化等、対象組織が任意で取り組む地域の創意工夫に基づいた活動。
農地維持支払	地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動 及び地域資源の適切な保全管理のための推進活動を支援する交付金。
資源向上支払(共同)	地域共同による水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境保全活動 及び多面的機能の増進を図る活動を支援する交付金。資源向上支払交 付金のうち、地域資源の質的向上を図る共同活動に係るもの。
資源向上支払(長 寿命化)	農地周りの老朽化が進む水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の地域共同による活動を支援する交付金。資源向上支払交付金のうち、施設の長寿命化のための活動に係るもの。
対象組織	交付の対象となる組織。広域活動組織又は活動組織。
—活動組織 —活動組織	農業者のみ又は農業者及びその他の者(地域住民、団体など)で構成される組織。
広域活動組織	農業者のみ又は農業者及びその他の者(地域住民、団体など)で構成され、基本的に旧市区町村区域又は協定の対象とする区域内の農用地面積が200ha以上(北海道にあっては、3,000ha以上)の組織。

法、実施要綱及び要領に明記されているもの

用語	用語の説明
農用地	耕作の目的又は主として耕作若しくは養畜の事業のための採草若しくは 家畜の放牧の目的に供される土地。
農用地面積 	「令和3年の農用地区域内の農地面積」に「農用地区域内の採草放牧地 面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。
	「令和3年の農用地区域内の農地面積」を基に「都道府県別地目別面積 比率調査」による田面積比率を乗じて算出した面積。
一畑面積	(「令和3年の農用地区域内の農地面積」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における普通畑の比率)+「令和3年の農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による樹園地面積比率を乗じて算出した面積。
- 草地面積	(「令和3年の農用地区域内の農地面積」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における牧草地の比率)+「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による採草放牧地面積比率を乗じて算出した面積。
事業計画	対象組織が作成する、事業の目標、内容、実施期間、構成員を定めた計画。
認定農用地	対象組織が事業計画に位置付けて活動を実施する農用地。
認定農用地面積	対象組織が事業計画に位置付けて活動を実施する農用地の面積。
カバー率	農用地面積に対する認定農用地面積の比率。

法、実施要綱及び要領に明記されているもの

I. 農地維持支払交付金の実施状況

農地維持支払交付金(以下「農地維持支払」という。)とは、農用地、水路、農道等の地域資源について、地域共同で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の砂利補充などの日常管理と、地域資源の適切な保全管理のための体制づくり等の推進活動を行う組織に対する支援である。

1. 全国の実施状況

- 令和5年3月末時点で、全国47都道府県の1,445市町村において、25,967組織が約232万 haの農用地を事業計画に位置づけ取り組んでいる(令和3年度と比較すると、対象組織数 は0.99倍、認定農用地面積は1.00倍)。
- 広域活動組織として1,020組織が活動しており、令和3年度と比較すると10組織増加した (対前年度比1.01倍)。
- 本交付金による保全管理の対象として位置付けられている施設は、水路約43万km、農道約25万km、ため池約4万7千箇所となっている。
- 全国46都道府県において、66の推進組織が設置されており、本交付金の推進を行っている。

(1) 農地維持支払の対象市町村数、対象組織数、認定農用地面積の推移

	H19	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 A	R4 B	参考:対R3 B/A
対象市町村数	1,241	1,198	1,325	1,404	1,422	1,429	1,434	1,437	1,443	1,447	1,445	
対象組織数	17,122	19,018	24,885	28,145	29,079	28,290	28,348	26,618	26,233	26,258	25,967	0.99倍
うち広域活動組織	-	551	685	760	807	853	899	947	991	1,010	1,020	1.01倍
認定農用地面積(ha)	1,160,430	1,474,379	1,961,681	2,177,554	2,250,822	2,265,742	2,292,522	2,274,027	2,290,820	2,311,040	2,318,259	1.00倍

[※]H19実績は、「農地・水・環境保全向上対策」、H25実績は、「農地・水保全管理支払交付金」における共同活動支援交付金の取組状況を参考として掲載。

(2) 対象施設数(令和4年度)

	北海道	都府県	全国計		
水 路 (km)	39,938	387,419	427,356		
農道(km)	28,536	219,212	247,749		
ため池(箇所)	735	46,197	46,932		

(3) 推進組織の設置状況(令和4年度)

全国計	都道府県単位	市町村単位		
66団体	46団体	20団体 新潟県(8) 富山県(12)		

1

2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、認定農用地面積)

- 〇 地域ブロック別に実施状況をみると、対象組織数は、東北が5,646組織と最も多く、次いで九州3,990組織、関東3,500組織となっている。このうち、広域活動組織は、東北が255組織と最も多く、次いで北陸214組織、九州186組織となっている。
- 〇 認定農用地面積は、北海道が約79万haと最も大きく、次いで東北約45万ha、九州約26万haとなっている。
- 1組織当たり面積の全国平均は89ha。北海道は1,104ha、都府県において最も大きいのは沖縄で417ha、次いで東北79ha、北陸77haとなっている。一方、最も小さいのは中国で34haとなっている。
- 〇 農用地面積に対する認定農用地面績の比率(カバー率)は全国で56%。ブロック別では北陸が75%で最も高く、次いで北海道68%、近畿65%となっている。最も低いのは関東で36%となっている。
- 令和3年度からの対象組織数の増加率は全国で0.99倍で、ブロック別では関東を除くブロックで減少している。認定農用地面積は北海道、東北、関東、中国及び九州で増加し、それ以外のブロックでは減少している。

(1) 農地維持支払の対象組織数、認定農用地面積、カバー率(令和4年度)

	対象組織	数	認定農用地面積	農用地面積	1組織当たりの 平均認定農用地面積	カバー率
	Α	うち、 広域活動組織数	(ha) B	(千ha) C	(ha) B∕A	B/C
. —						
全国	25,967	1,020	2,318,259	4,131.5	89	56%
北海道	714	51	788,276	1,163.4	1,104	68%
東北	5,646	255	445,675	814.2	79	55%
関東	3,500	84	225,055	631.5	64	36%
北陸	2,926	214	225,467	300.8	77	75%
東海	1,654	42	86,199	153.0	52	56%
近畿	3,430	47	118,689	183.3	35	65%
中国	2,809	93	96,416	216.0	34	45%
四国	1,245	22	49,423	126.4	40	39%
九州	3,990	186	260,959	500.6	65	52%
沖縄	53	26	22,101	42.3	417	52%

[※]農用地面積は、「令和3年の農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。

(2) 農地維持支払の対象組織数、認定農用地面積の推移

(単位:ha)

	H	119	H	125	H	126	H	130		R1		R2		R3		R4	参考:	:対R3
	組織数	面積	組織数 A	面積 B	組織数 C	面積 D	組織数 C/A	面績 D/B										
全国	17,122	1,160,430	19,018	1,474,379	24,885	1,961,681	28,348	2,292,522	26,618	2,274,027	26,233	2,290,820	26,258	2,311,040	25,967	2,318,259	0.99倍	1.00倍
北海道	476	257,029	693	442,977	767	653,489	834	780,557	765	777,629	741	782,482	741	784,204	714	788,276	0.96倍	1.01倍
東北	3,237	282,589	3,070	291,659	4,721	385,331	5,913	442,595	5,715	439,415	5,634	440,029	5,660	444,437	5,646	445,675	1.00倍	1.00倍
関東	1,476	87,686	2,004	118,423	2,515	150,613	3,500	210,380	3,396	211,454	3,428	218,216	3,470	222,802	3,500	225,055	1.01倍	1.01倍
北陸	2,142	105,891	2,596	146,087	3,439	201,253	3,204	224,816	2,948	222,617	2,932	223,463	2,946	225,476	2,926	225,467	0.99倍	1.00倍
東海	1,118	64,861	1,044	65,643	1,524	80,476	1,725	85,886	1,679	85,958	1,676	86,703	1,681	87,967	1,654	86,199	0.98倍	0.98倍
近畿	3,181	100,392	3,262	103,951	3,670	112,667	4,004	121,663	3,639	117,642	3,525	118,190	3,493	118,748	3,430	118,689	0.98倍	1.00倍
中国	1,274	53,103	1,695	67,271	2,632	82,504	3,076	95,186	2,897	93,099	2,854	93,835	2,855	95,346	2,809	96,416	0.98倍	1.01倍
四国	808	33,465	888	36,935	1,136	44,042	1,424	50,599	1,298	48,520	1,268	48,648	1,266	49,719	1,245	49,423	0.98倍	0.99倍
九州	3,364	166,669	3,726	190,448	4,435	229,528	4,617	258,761	4,229	255,667	4,121	257,210	4,091	259,530	3,990	260,959	0.98倍	1.01倍
沖縄	46	8,745	40	10,986	46	21,779	51	22,078	52	22,028	54	22,045	55	22,810	53	22,101	0.96倍	0.97倍

[※]H19実績は、「農地・水・環境保全向上対策」、H25実績は、「農地・水保全管理支払交付金」における共同活動支援交付金の取組状況を参考 として掲載。

3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況

- 〇 地目別実施状況をみると、
 - 認定農用地面積232万haの内訳は、田が145万ha、畑が55万ha、草地が31万haとなっている。
 - ・ 農用地面積に対する認定農用地面積の比率(カバー率)は、田が66%、畑が46%、草地が44%となっている。
- 地目別認定農用地面積割合を地域ブロック別にみると、東北及び北陸では認定農用地面積に占める田の割合が90%以上と高くなっている。また、北海道は畑、草地の割合が高く、沖縄では畑の割合が90%と高くなっている。

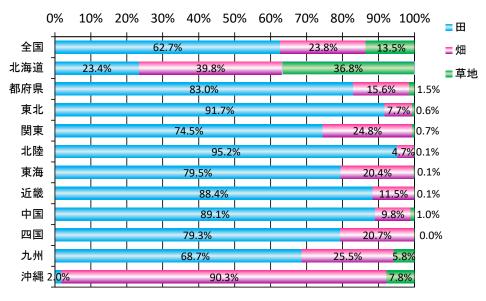
(1) 農地維持支払の地目別認定農用地面積とカバー率(令和4年度)

		認定農用地				農用地面 E		カバー率 A/B			
		田	畑	草地		田	畑	草地	田	畑	草地
全国	2,318,259	1,454,084	551,708	312,467	4,131.5	2,215.2	1,211.6	704.7	66%	46%	44%
北海道	788,276	184,641	313,556	290,080	1,163.4	236.3	405.5	521.6	78%	77%	56%
東北	445,675	408,867	34,164	2,644	814.2	575.8	159.3	79.1	71%	21%	3%
関東	225,055	167,702	55,846	1,508	631.5	366.3	246.6	18.5	46%	23%	8%
北陸	225,467	214,701	10,557	209	300.8	270.0	25.7	5.1	80%	41%	4%
東海	86,199	68,499	17,588	112	153.0	112.5	37.0	3.5	61%	48%	3%
近畿	118,689	104,924	13,688	76	183.3	143.8	37.6	1.9	73%	36%	4%
中国	96,416	85,941	9,466	1,008	216.0	164.3	40.0	11.6	52%	24%	9%
四国	49,423	39,187	10,218	18	126.4	73.9	50.0	2.4	53%	20%	1%
九州	260,959	179,192	66,674	15,094	500.6	271.2	179.8	49.6	66%	37%	30%
沖縄	22,101	431	19,951	1,718	42.3	1.0	30.0	11.4	45%	66%	15%

注1:農用地面積は、「令和3年農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。 注2:地目別の農用地面積は、以下による推計値。

- ・田面積=「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による田面積比率を乗じて算出した面積
- ・畑面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における普通畑の比率)+「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による樹園地面積比率を乗じて算出した面積
- ・草地面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における牧草地の比率)+「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による採草放牧地面積比率を乗じて算出した面積

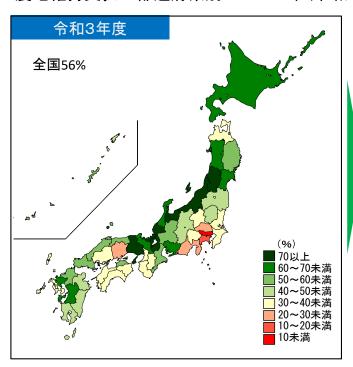
(2) 農地維持支払の地目別認定農用地面積割合(令和4年度)

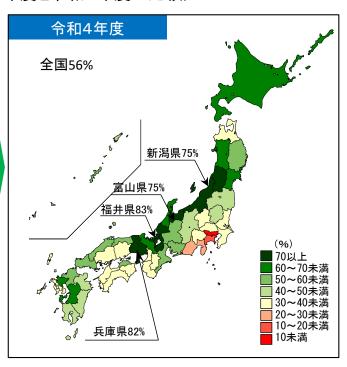


(参考) 農地維持支払の都道府県別のカバー率について

- 全国の農地維持支払のカバー率は、令和3年度、令和4年度のいずれも56%となっている。
- 令和4年度の都道府県別のカバー率をみると、福井県が83%で最も高く、次いで兵庫県が82%、富山県及び新潟県が75%となっている。

農地維持支払の都道府県別のカバー率(令和3年度と令和4年度の比較)





(参考)農業用用排水路の管理を行う農業集落における多面的機能支払交付金 (農地維持支払)及び中山間地域等直接支払交付金による管理割合について

- 〇 農地維持支払交付金の農用地面績は232万ha、中山間地域等直接支払交付金の農用地面績は66万haであり、両施策の農用地面績の重複(45万ha)を除いて合計すると、253万haとなっている。
- O 農地維持支払交付金又は中山間地域等直接支払交付金の実施により農地、農業用施設の保全管理に取り組む農用地面積は、農業用用排水路を管理する農業集落の耕地面積の74%となっている。



- 農業用用排水路を管理する集落の耕地面積※1
- 中山間地域等直接支払のみの交付を受け管理を行う農用地面積※2
- 中山間地域等直接支払及び多面的機能支払の交付を受けて管理を 行う農用地面積
- 多面的機能支払のみの交付を受けて管理を行う農用地面積※3
- ※1:2020年農林業センサスの農山村地域調査対象集落のうち、「農業用用排水路のある農業集落のうち、農業用用排水路を保全している」と回答した102,188集落の耕地面積の合計値。 資料:農林水産省統計部「2020年農林業センサス」(組替集計)
- ※2: 令和4年度における協定面積から多面的機能支払と重複して管理を行う農用地面積を差し引いたもの。
- ※3:令和4年度における農地維持支払の認定農用地面積から、中山間地域等直接支払と重複して管理を行う農用地面積を差し引いたもの。

Ⅱ. 資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)の実施状況

資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)(以下「資源向上支払 (共同)」という。)とは、水路、農道等の施設の軽微な補修、生態系保全や景観形成等 の農村環境の保全活動等を行う組織に対する支援である。

1. 全国の実施状況

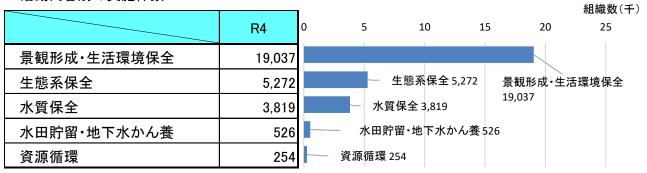
- 令和5年3月末時点で、全国46都道府県の1,305市町村において、20,570組織が、約207万 haの農用地を事業計画に位置付け取り組んでいる。
- 農村環境保全の活動内容別の実施件数は、景観形成・生活環境保全の取組が最も多く、 次いで生態系保全となっている。
- 多面的機能の増進を図る活動の活動内容別の実施件数は、農村環境保全活動の幅広い 展開が最も多く、次いで鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化となっている。

(1) 資源向上支払(共同)の対象市町村数、対象組織数、認定農用地面積の推移

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 A	R4 B	参考:対 R3 B/A
3	対象市町村数	1,247	1,271	1,286	1,284	1,287	1,295	1,301	1,309	1,305	
3	対象組織数	21,299	22,731	23,279	22,299	22,223	20,923	20,815	20,878	20,570	0.99倍
	うち広域活動組織	646	704	747	786	832	877	925	948	958	1.01倍
į	認定農用地面積(ha)	1,792,816	1,930,358	1,996,037	2,001,220	2,023,175	2,013,793	2,042,052	2,063,282	2,071,001	1.00倍

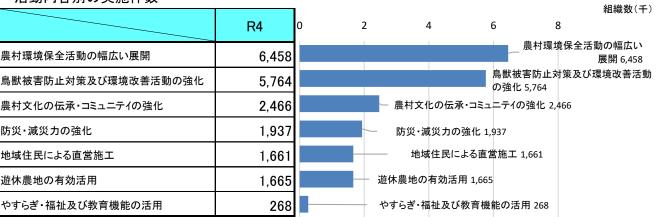
(2) 農村環境保全活動の実施状況

活動内容別の実施件数



(3) 多面的機能の増進を図る活動の実施状況

・活動内容別の実施件数



2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、認定農用地面積)

- 地域ブロック別に実施状況をみると、対象組織数は、東北が4,393組織と最も多く、次いで 九州3,187組織、近畿2,995組織となっている。
- 〇 認定農用地面積は北海道が約73万haと最も大きく、次いで東北約39万ha、九州約24万haとなっている。
- 1組織当たりの平均認定農用地面積は101ha。北海道が1,081haで最も大きく、都府県においては、沖縄が377ha、次いで東北が88haとなっている。一方、最も小さいのは近畿で36haとなっている。
- 農用地面積に対する認定農用地面積の比率(カバー率)は、全国で50%。ブロック別では北陸が71%で最も高く、次いで北海道が63%、近畿が59%となっている。一方、最も低いのは関東で27%となっている。
- 令和3年度からの対象組織数の増加率は全国で0.99倍で、ブロック別では関東を除き減少している。認定農用地面積は、北海道、東北、関東、近畿、中国及び九州ブロックで増加し、それ以外のブロックでは減少している。

(1) 資源向上支払(共同)の対象組織数、認定農用地面績、カバー率(令和4年度)

	対象	組織数	認定農用地面積	農用地面積	1組織当たりの 平均認定農用地面積	カバー率	
	_	うち、 広域活動組織数	(ha) _	(千 ha)	(ha)		
	Α	14以14到1400000000000000000000000000000000	В	С	B/A	B/C	
全国	20,570	958	2,071,001	4,131.5	101	50%	
北海道	678	47	732,591	1,163.4	1,081	63%	
東北	4,393	225	387,177	814.2	88	48%	
関東	2,433	73	168,849	631.5	69	27%	
北陸	2,445	213	213,711	300.8	87	71%	
東海	1,339	40	75,984	153.0	57	50%	
近畿	2,995	43	108,261	183.3	36	59%	
中国	2,130	93	86,039	216.0	40	40%	
四国	921	22	42,339	126.4	46	34%	
九州	3,187	177	237,553	500.6	75	47%	
沖縄	49	25	18,496	42.3	377	44%	

[※]農用地面積は、「令和3年の農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。

(2) 資源向上支払(共同)の対象組織数、認定農用地面積の推移

(単位:ha)

	H26		H30			R1		R2		R3		R4	参考:	対R3
	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数 A	面積 B	組織数 C	面積 D	組織数 C/A	面績 D/B
全国	21,299	1,792,816	22,223	2,023,175	20,923	2,013,793	20,815	2,042,052	20,878	2,063,282	20,570	2,071,001	0.99倍	1.00倍
北海道	747	621,217	787	717,987	719	714,897	699	725,525	702	727,111	678	732,591	0.97倍	1.01倍
東北	3,721	331,209	4,393	372,183	4,332	374,610	4,361	379,697	4,401	385,857	4,393	387,177	1.00倍	1.00倍
関東	2,139	131,587	2,469	158,788	2,394	160,537	2,404	163,568	2,430	167,482	2,433	168,849	1.00倍	1.01倍
北陸	2,910	180,525	2,652	211,927	2,437	210,013	2,442	211,384	2,472	213,712	2,445	213,711	0.99倍	1.00倍
東海	1,294	72,938	1,362	75,679	1,335	75,822	1,349	76,531	1,359	77,787	1,339	75,984	0.99倍	0.98倍
近畿	3,452	108,195	3,505	110,089	3,176	106,825	3,092	107,684	3,056	108,253	2,995	108,261	0.98倍	1.00倍
中国	2,101	75,013	2,271	82,625	2,152	81,078	2,151	82,458	2,170	84,732	2,130	86,039	0.98倍	1.02倍
四国	968	40,695	1,043	43,222	943	41,380	949	41,847	947	42,715	921	42,339	0.97倍	0.99倍
九州	3,924	212,585	3,694	231,548	3,387	229,520	3,318	234,231	3,290	236,425	3,187	237,553	0.97倍	1.00倍
沖縄	43	18,852	47	19,126	48	19,110	50	19,127	51	19,207	49	18,496	0.96倍	0.96倍

3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況

- 地目別取組状況をみると、
 - 認定農用地面積207万haの内訳は、田が130万ha、畑が51万ha、草地が26万haとなっている。
 - 農用地面積に対する比率(カバー率)は、田が59%、畑が42%、草地が37%となっている。
- 地目別認定農用地面積割合を地域ブロック別にみると、東北、北陸及び近畿では認定農用地面積に占める田の割合が90%以上と高くなっている。また、北海道では畑と草地で約75%を占め、沖縄では畑の割合が約93%を占めている。

(1) 資源向上支払(共同)の地目別認定農用地面積とカバー率(令和4年度)

		認定農用地 A				農用地面 E	積(千ha) B	カバー率 A/B			
		田畑		草地		田	畑	草地	田	畑	草地
全国	2,071,001	1,300,866	509,986	260,149	4,131.5	2,215.2	1,211.6	704.7	59%	42%	37%
北海道	732,591	182,036	309,932	240,623	1,163.4	236.3	405.5	521.6	77%	76%	46%
東北	387,177	354,873	29,794	2,510	814.2	575.8	159.3	79.1	62%	19%	3%
関東	168,849	126,069	41,309	1,471	631.5	366.3	246.6	18.5	34%	17%	8%
北陸	213,711	203,261	10,242	209	300.8	270.0	25.7	5.1	75%	40%	4%
東海	75,984	60,738	15,143	103	153.0	112.5	37.0	3.5	54%	41%	3%
近畿	108,261	99,687	8,499	76	183.3	143.8	37.6	1.9	69%	23%	4%
中国	86,039	76,713	8,394	932	216.0	164.3	40.0	11.6	47%	21%	8%
四国	42,339	33,685	8,636	18	126.4	73.9	50.0	2.4	46%	17%	1%
九州	237,553	163,615	60,771	13,167	500.6	271.2	179.8	49.6	60%	34%	27%
沖縄	18,496	191	17,267	1,038	42.3	1.0	30.0	11.4	20%	58%	9%

注1:農用地面積は、「令和3年農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。 注2:地目別の農用地面積は、以下による推計値。

- ・田面積=「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による田面積比率を乗じて算出した面積
- ・畑面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における普通畑の比率)+「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による樹園地面積比率を乗じて算出した面積
- ・草地面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における牧草地の比率)+「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による採草放牧地面積比率を乗じて算出した面積

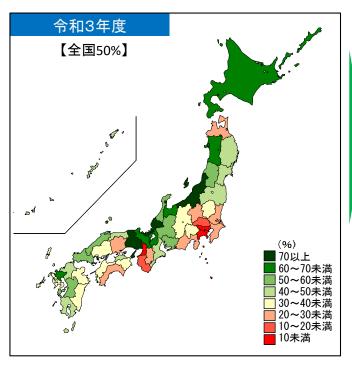
(2) 資源向上支払(共同)の地目別認定農用地面積割合(令和4年度)

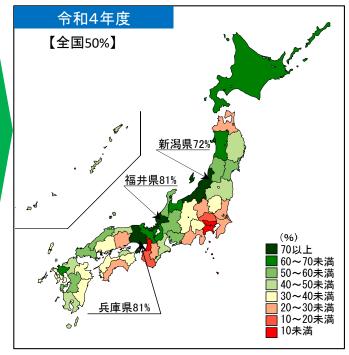


(参考) 資源向上支払(共同)の都道府県別のカバー率について

- 全国の資源向上支払(共同)のカバー率は、令和3年度、令和4年度のいずれも50%となっている。
- 令和4年度の都道府県別のカバー率をみると、福井県及び兵庫県が81%と最も高く、次いで新潟県が72%となっている。

資源向上支払(共同)の都道府県別のカバー率(令和3年度と令和4年度の比較)



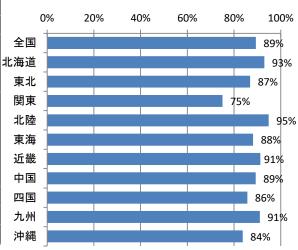


(参考) 農地維持支払に対する資源向上支払(共同)の認定農用地面積の比率について

〇 農地維持支払に対する資源向上支払(共同)の認定農用地面績の比率は、北陸が95%と最も高く、次いで北海道が93%、近畿及び九州が91%となっている。最も低いのは関東で75%となっている。

農地維持支払に対する資源向上支払(共同)の認定農用地面績の比率(令和4年度)

			(単位:ha)
	資源向上 (共同) 認定農用地面績	農地維持 認定農用地面績	認定農用地 面積 の比率
	Α	В	A/B
全国	2,071,001	2,318,259	89%
北海道	732,591	788,276	93%
東北	387,177	445,675	87%
関東	168,849	225,055	75%
北陸	213,711	225,467	95%
東海	75,984	86,199	88%
近畿	108,261	118,689	91%
中国	86,039	96,416	89%
四国	42,339	49,423	86%
九州	237,553	260,959	91%
沖縄	18,496	22,101	84%



Ⅲ. 資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)の実施状況

資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)(以下「資源向上支払(長寿命化)」という。)とは、老朽化した農業用用排水路等の施設の長寿命化のための補修・更新等を行う組織に対する支援である。

1. 全国の実施状況

- 令和5年3月末時点で、全国47都道府県の932市町村において11,237組織が、約79万haの 農用地を事業計画に位置付け取り組んでいる。
- 〇 水路約3万9千km、農道約2万km、ため池約5千7百箇所を対象に補修又は更新を計画。
- 令和4年度は水路1,518km、農道616km、ため池783箇所の施設で補修又は更新を実施。

(1) 資源向上支払(長寿命化)の対象市町村数、対象組織数、対象農用地面積の推移

		H23	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 A	R4 B	参考∶対R3 B∕A
5	対象市町村数	626	736	831	873	879	869	871	885	901	919	932	
5	対象組織数	5,811	8,171	10,280	11,471	11,880	11,586	11,616	11,134	11,116	11,175	11,237	1.01倍
	うち広域活動組織		282	401	483	529	575	616	686	719	733	746	1.02倍
7	対象農用地面積(ha)	236,982	400,935	550,446	636,996	676,408	689,393	710,587	741,169	757,628	764,660	789,230	1.03倍

[※]H23~H25までの実績は、旧制度である「農地・水保全管理支払交付金」における向上活動支援交付金の取組状況を参考として掲載。

(2) 資源向上支払(長寿命化)の対象施設数

ア. 補修・更新等の対象施設数(令和4年度)

	延長•箇所数
水 路 (km)	38,611
農 道 (km)	19,664
ため池 (箇所)	5,656

イ. 補修・更新等の実施施設数(令和4年度)

	延長•箇所数
水 路 (km)	1,518
農 道 (km)	616
ため池(箇所)	783

2. 地域ブロック別の実施状況(対象組織数、対象農用地面積)

- 地域ブロック別に取組状況をみると、対象組織数は、近畿が2,202組織と最も多く、次いで 東北1,854組織、九州1,768組織となっている。
- 対象農用地面積は、九州が約16万4千haで最も大きく、次いで東北が約15万6千ha、北陸が約11万8千haとなっている。
- 1組織当たり面積の全国平均は70ha。北海道が1,629haで最も大きく、都府県では沖縄が455ha、次いで北陸が102haとなっている。一方、最も小さいのは近畿で33haとなっている。
- 〇 農用地面積に対する対象農用地面積の比率(カバー率)は、全国で19%、ブロック別では近畿が40%で最も高く、次いで北陸39%、東海及び九州が33%と続く。一方、最も低いのは北海道で1.0%となっている。
- 令和3年度からの対象組織数の増加率は全国で1.01倍で、ブロック別では東北、関東、北陸及び九州で増加し、他のブロックでは減少している。対象農用地面積の増加率は全国で1.03倍で、ブロック別では北海道が2.38倍で最も高く、沖縄が1.08倍と続いている。

(1) 資源向上支払(長寿命化)の対象組織数、対象農用地面績、カバー率(令和4年度)

	対象組織数	数	対象農用地面積	農用地面積	1組織当たりの 平均対象農用	カバー率	
	А	うち、 広域活動 組織数	(ha) B	(千ha) C	地面積 (ha) B/A	B/C	
全国	11,237	746	789,230	4,131.5	70	19%	
北海道	7	2	11,404	1,163.4	1,629	1.0%	
東北	1,854	129	155,512	814.2	84	19%	
関東	1,497	70	109,221	631.5	73	17%	
北陸	1,160	179	117,895	300.8	102	39%	
東海	768	36	51,216	153.0	67	33%	
近畿	2,202	37	72,722	183.3	33	40%	
中国	1,261	87	62,996	216.0	50	29%	
四国	698	21	33,979	126.4	49	27%	
九州	1,768	167	164,282	500.6	93	33%	
沖縄	22	18	10,002	42.3	455	24%	

[※]農用地面積は、「令和3年の農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。

(2) 資源向上支払(長寿命化)の対象組織数、対象農用地面績の推移

(単位:ha)

	Н	23	Н	125	Н	26	Н	127	Н	128	H	129	Н	30	ı	₹1	ı	₹2	F	R3	ı	₹4	参考	:対R3
	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数	面積	組織数 A	面積 B	組織数 C	面積 D	組織数 C/A	面績 D/B
全国	5,811	236,982	8,171	400,935	10,280	550,446	11,471	636,996	11,880	676,408	11,586	689,393	11,616	710,587	11,134	741,169	11,116	757,628	11,175	764,660	11,237	789,230	1.01倍	1.03倍
北海道	28	2,924	57	21,256	57	26,441	43	26,991	33	21,761	20	10,739	19	10,997	12	9,211	14	9,679	10	4,797	7	11,404	0.70倍	2.38倍
東北	518	29,553	443	26,049	1,207	88,845	1,637	121,848	1,785	134,703	1,879	142,573	1,842	140,059	1,851	151,477	1,838	154,032	1,830	153,402	1,854	155,512	1.01倍	1.01倍
関東	574	27,157	866	50,569	1,128	69,950	1,354	82,841	1,445	90,843	1,323	83,724	1,406	93,384	1,372	98,566	1,400	101,503	1,448	106,096	1,497	109,221	1.03倍	1.03倍
北陸	758	31,101	1,101	58,242	1,246	70,830	1,322	81,407	1,392	89,265	1,375	100,697	1,218	103,238	1,074	108,808	1,077	111,281	1,101	114,204	1,160	117,895	1.05倍	1.03倍
東海	262	14,112	490	30,399	674	40,367	738	43,842	752	45,255	727	47,241	754	49,250	761	50,975	763	51,530	773	51,182	768	51,216	0.99倍	1.00倍
近畿	1,461	42,635	1,903	54,112	2,146	60,178	2,308	64,270	2,364	66,767	2,289	65,219	2,334	66,154	2,254	68,585	2,228	70,854	2,225	72,160	2,202	72,722	0.99倍	1.01倍
中国	756	24,394	1,079	42,542	1,255	48,356	1,345	52,959	1,402	54,846	1,343	57,491	1,370	59,684	1,315	60,580	1,299	60,423	1,286	61,003	1,261	62,996	0.98倍	1.03倍
四国	334	10,658	510	19,696	606	25,390	686	29,824	737	32,077	753	32,955	775	33,644	716	33,166	725	33,937	719	34,484	698	33,979	0.97倍	0.99倍
九州	1,106	50,648	1,708	94,702	1,946	116,688	2,018	124,916	1,952	132,738	1,854	139,928	1,875	145,241	1,756	150,547	1,749	155,136	1,760	158,094	1,768	164,282	1.00倍	1.04倍
沖縄	14	3,800	14	3,368	15	3,402	20	8,098	18	8,154	23	8,825	23	8,934	23	9,253	23	9,255	23	9,238	22	10,002	0.96倍	1.08倍

※H23~H25までの実績は、旧制度である「農地・水保全管理支払交付金」における向上活動支援交付金の取組状況を参考として掲載。

3. 地目別(田、畑、草地別)の実施状況

- 〇 地目別実施状況をみると、
 - 対象農用地面積79万haの内訳は、田が65万ha、畑が13万ha、草地が6千haとなっている。
 - ・ 農用地面積に対する比率(カバ一率)は、田が29%、畑が11%、草地が1%となっている。
- 地目別対象農用地面積割合を地域ブロック別にみると、東北、北陸は対象農用地面積に 占める田の割合が90%以上となっており、沖縄では対象農用地面積に占める畑の割合が 96%と高くなっている。

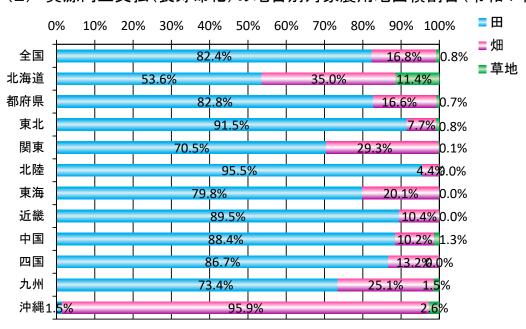
(1) 資源向上支払(長寿命化)の地目別対象農用地面積とカバー率(令和4年度)

		対象農用地				農用地面		カバー率 A/B			
		田	畑	草地		田	畑	草地	田	畑	草地
全国	789,230	649,953	132,905	6,371	4,131.5	2,215.2	1,211.6	704.7	29%	11%	1%
北海道	11,404	6,110	3,995	1,300	1,163.4	236.3	405.5	521.6	3%	1%	0%
東北	155,512	142,222	12,045	1,246	814.2	575.8	159.3	79.1	25%	8%	2%
関東	109,221	77,051	32,043	127	631.5	366.3	246.6	18.5	21%	13%	1%
北陸	117,895	112,624	5,233	38	300.8	270.0	25.7	5.1	42%	20%	1%
東海	51,216	40,878	10,314	25	153.0	112.5	37.0	3.5	36%	28%	1%
近畿	72,722	65,110	7,581	31	183.3	143.8	37.6	1.9	45%	20%	2%
中国	62,996	55,708	6,440	849	216.0	164.3	40.0	11.6	34%	16%	7%
四国	33,979	29,467	4,500	13	126.4	73.9	50.0	2.4	40%	9%	1%
九州	164,282	120,640	41,162	2,481	500.6	271.2	179.8	49.6	44%	23%	5%
沖縄	10,002	146	9,594	262	42.3	1.0	30.0	11.4	15%	32%	2%

注1:農用地面積は、「令和3年農用地区域内の農地面積調査」における農地面積に「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を加えた面積。 注2:地目別の農用地面積は、以下による推計値。

- ・田面積=「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による田面積比率を乗じて算出した面積
- ・畑面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付 面積統計」における普通畑の比率)+「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による樹園地面積比率を乗じて算出し た面積
- ・草地面積=(「令和3年農用地区域内の農地面積調査」を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による畑面積比率を乗じて算出した面積×「令和3年耕地及び作付面積統計」における牧草地の比率)+「農用地区域内の採草放牧地面積」(農村振興局調べ)を基に「都道府県別地目別面積比率調査」による採草放牧地面積比率を乗じて算出した面積

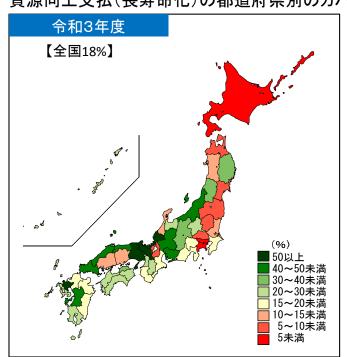
(2) 資源向上支払(長寿命化)の地目別対象農用地面積割合(令和4年度)

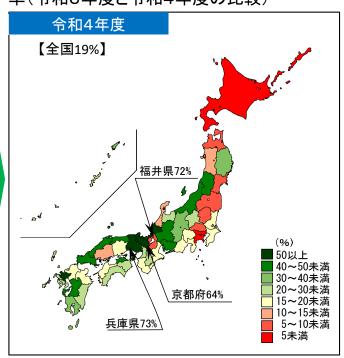


(参考) 資源向上支払(長寿命化)の都道府県別のカバー率について

- 全国の資源向上支払(長寿命化)のカバー率は、令和3年度の18%から令和4年度は19% へと1%上昇した。
- 〇 令和4年度の都道府県別のカバー率をみると、兵庫県が73%と最も高く、福井県が72%、京都府が64%と続いている。

資源向上支払(長寿命化)の都道府県別のカバー率(令和3年度と令和4年度の比較)





(参考) 農地維持支払に対する資源向上支払(長寿命化)の対象農用地面績 の比率について

〇 農地維持支払に対する資源向上支払(長寿命化)の対象農用地面績の比率は、四国が69%と高く、次いで中国が65%となっている。最も低いのは北海道で1%となっている。

農地維持支払に対する資源向上支払(長寿命化)の対象農用地面績の比率(令和4年度)

(単位:ha)

	資源向上 (長寿命化) 対象農用地面績	農地維持 認定農用地面績	対象農用地面績 の比率
	Α	В	A/B
全国	789,230	2,318,259	34%
北海道	11,404	788,276	1%
東北	155,512	445,675	35%
関東	109,221	225,055	49%
北陸	117,895	225,467	52%
東海	51,216	86,199	59%
近畿	72,722	118,689	61%
中国	62,996	96,416	65%
四国	33,979	49,423	69%
九州	164,282	260,959	63%
沖縄	10,002	22,101	45%

